

退けしむ。

【溫故古文抄】

一四二一

二宮知行分、廣瀬五ヶ村代官職事、以前言上趣加州へ相尋候處、二宮與四郎嘗以不相拘由候。殊清水連々申子細雖在之、不令同心之旨申上候。重疊候。清水申掠歷然候。所詮最前以請狀旨、彌堅被申付候者可喜入候。猶宗(三淵)薰可申候也。恐々謹言。

六月十八日

義輝 在判

本願寺殿

(廣瀬の代官職二宮某は、永祿三年三月四日の條に見えたる菊阿のことなるべし。)

六月廿九日。足利義輝、畠山義綱に、その年始の禮物を贈れるを謝す。

【御内書案】

一四三三

爲年始禮、太刀一腰・白鳥一・背腸五十桶到來、目出候。猶(天領左衛門佐)晴光可申候也。
(永祿四年)

六月廿九日

御判

畠山次郎どのへ

八月三日。足利義氏、北條氏康の命に依り、石川郡本誓寺に越後を擾亂することを勸む。

【本誓寺文書】 石川郡

一四三三

態爲使節被遣勝願寺候。抑長尾彈正少弼、去申歲致越山已來、關東干戈無止事候。雖然、北條氏康父子防戰堅固故、過半令靜謐候。然者當秋重而可致越山段被聞召及候。此砌越國騷亂之儀、廻行馳走頼思召候。不乘景虎計策、可被勸忠節儀、關東由緒無據候歟。此度之謀略肝要候。(鎌中)安養寺・瑞泉寺態々可有談合候。至于御本意者、門徒興隆之儀可被加御下知候。尙勝願寺舌頭被仰合候。仍而御腰物兼元作被遣之候。謹言。
(永祿四年)

八月三日

義氏 在判

本誓寺

八月廿八日。能登守護畠山義綱、鹿島郡永光寺領の竹木伐採及び狼藉を停む。

【永光寺文書】 鹿島郡

一四三四

寺領竹木伐取事并狼藉之族、一圓可令停止候。若此旨令違背者、可被加御成敗之旨、依仰執達如件。

永祿四年八月廿八日

連理 在判

永光寺

英教 在判

九月十八日。幕府、春日局より沽却せる石川郡相河・竹松等に關して公驗を與ふ。

【古文書集】

一四三五

加州相河村・竹松等事、對井上新五郎從春日御局御沽却候。然者公驗之儀望申候間被成置候。可爲祝着之旨自御局可申由候。猶春阿申候間不能巨細候。恐々謹言。
(永祿四年)

九月十八日

晴長 在判

九月廿八日。正親町天皇、羽咋郡氣多社に、その遷宮を勅許し給ふ。

【氣多神社文書】 羽咋郡

一四三六

氣多社遷宮之事被聞食訖。任先例可致其沙汰之旨、天氣如此。悉之以狀。

永祿四年九月廿八日

左中辨 在判

當社々官中

【氣多神社文書】

一四二七

能州氣多社神躰鎮座事、被聞食畢。者、天氣如此。悉之以狀。
(年不詳)

二月二日

右中辨 在判

氣多社々官中

(第二通は年次不詳なりといへども、類を以てこゝに合叙す。)

十一月三日。譽田康俊、鳳至郡岩藏寺に、大野村の年貢の内を寄進す。

【石倉比古神社文書】 珠洲郡

一四二八

永代寄進申被成之事

合百廿五文者 但もち田也

右大野村御年貢之内、寄進申處也。仍永代之狀如件。

永祿四年霜月三日